



2020年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 2020年3月期 第2四半期決算レビュー
- 2020年3月期 第2四半期活動実績
- 2020年3月期 通期業績見通し



2020年3月期 第2四半期決算レビュー



創業来20期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robotics分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を実施

(連結経営成績 単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期 実績 (注)	2020年3月期 第2四半期 実績	実績 前年比	2020年3月期 通期予想
売上高	2,345	2,935	—	6,563
営業利益	△437	18	—	1~1,313
経常利益	△427	11	—	1~1,313
純利益	△311	△32	—	0~814

(注) 2019年3月期第2四半期実績は単体決算の実績です。

当初計画より
変更なし



■売上高および利益について

【売上】

・当社の売り上げ構成は、ストック型のライセンス収入とフロー型のカスタマイズ収入に分かれており、その構成比は、大凡、ライセンス収入：カスタマイズ収入＝8：2となっております。

・売上高実績として、前年の単体実績との比較で124%増となっております。これは、IoTプラットフォームサービスを筆頭とした既存サービスにおいてライセンス数を順調に積み上げることが出来ていること、および新サービスの受注数が積み上がり、順調に開発を進めることが出来ている結果となります。

【利益】

・利益実績としては、営業利益18百万円・経常利益11百万円となっており、ともに黒字転換しております。これは、戦略的に開発投資を実施するという期初からの計画どおりであり、下半期においても引き続き計画に基づき、研究開発に注力して参ります。

上記のとおり、第二四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画どおりであり、業績予想への影響は一切ございません。



2020年3月期 第2四半期活動実績



新サービス

「OPTiM Cloud IoT OS」
～ 「OO×IT」 ～



会社概要（これまでの〇〇×ITの具体的な取組み）

AI・IoT・Robotics等の最先端技術を、新たな価値の創造や課題解決を実現するため、様々な業界や産業と融合させた事業を幅広く展開中

OPTiM

ロボット x IT

- 精密機械・ロボット分野の AI・IoT活用

Kawasaki
Powering your potential

農業 x IT

- AI・ドローンを活用したピンポイント農薬散布
- オプティムアグリ・みちのく
- 「スマート農業アライアンス」
- 「スマート農業プロフェショナルサービス」

佐賀県 国立大学法人 佐賀大学 AGRI MICHINOKU

運輸 x IT

- 無人駅画像に対するAIでの侵入検知

医療 x IT

- 遠隔診療「ポケットドクター」
- メディカル・イノベーション研究所
- 先端医療 x AI・IoT
- 次世代医療用ロボット

佐賀大学医学部附属病院

金融 x IT

- AIを活用した振り込み詐欺対策

佐賀銀行

建設 x IT

- 建設生産プロセス全てを見える化
- スマートグラスによる遠隔作業支援

KOMATSU LANDLOG
松尾建設株式会社

小売 x IT

- AIを活用した無人店舗

モノタロウ

警察 x IT

- 防犯技術等の包括連携協定

佐賀県警察
SAGA PREFECTURAL POLICE

電力 x IT

- 戦略的提携締結

九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。



〇〇xITの具体的な取組み（第二四半期以降）

〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
農業	2019/7	スマート農業を活用した 特産物の生産力強化に向けた共同事業 を実施	兵庫県丹波県民局
	2019/7	AI・ドローンを用いた作付け確認業務支援 の実証事業を開始	長崎県五島市
	2019/10	AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業 を発表	エンルート
	2019/10	スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する「 スマート農業プロフェショナルサービス 」開始	
医療	2019/7	AI・IoTを活用した 在宅医療支援サービスのビジネスマッチング を開始	佐賀銀行
	2019/8	AIカメラ の導入で広がる 介護 の未来！	ソラスト
	2019/9	「 OPTiM AI Camera 」を用いた手指衛生モニタリング手法の評価を行う共同研究を開始	聖路加国際大学
	2019/11	次世代の医療・診断を支えるデジタル医療の事業化加速を目的に 合併会社設立に向け基本合意	シスメックス
	2019/11	次世代医療用ロボット に関連する業務において業務提携	メディカロイド
建設	2019/9	AI・IoT技術を活用した取り組みを推進すべく、「 建設×IT 戦略的包括提携 」を締結	松尾建設
警察	2019/8	遠隔作業支援サービス「 Optimal Second Sight 」、災害対策の支援機器として提供開始	佐賀県警察
ロボット	2019/11	精密機械・ロボット分野 のAI・IoT活用における業務提携	川崎重工業

「OPTiM AI Camera」新サービスを発表： 「OPTiM AI Camera Lite」 「OPTiM AI Camera Mobile」 「OPTiM AI Creator」

エントリープランとスマホだけで使えるサービスが登場、
お客様によるAIの追加作成も実現

■ 解析結果閲覧イメージ



スマホ・タブレットを使って始められる
AI画像解析サービス



紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/GUy830D4BWM>
https://youtu.be/_wV8Ckj_Mel

「OPTiM AI Research」 「OPTiM AI Signage」を発表

AIによる詳細な顧客分析、店頭におけるピンポイントでのマーケティングを実現

■ 「OPTiM AI Research」



小売店舗内に設置されたタブレット・カメラによって画像解析を行い、商品に対するお客様の反響を収集するAIサービス

■ 「OPTiM AI Signage」

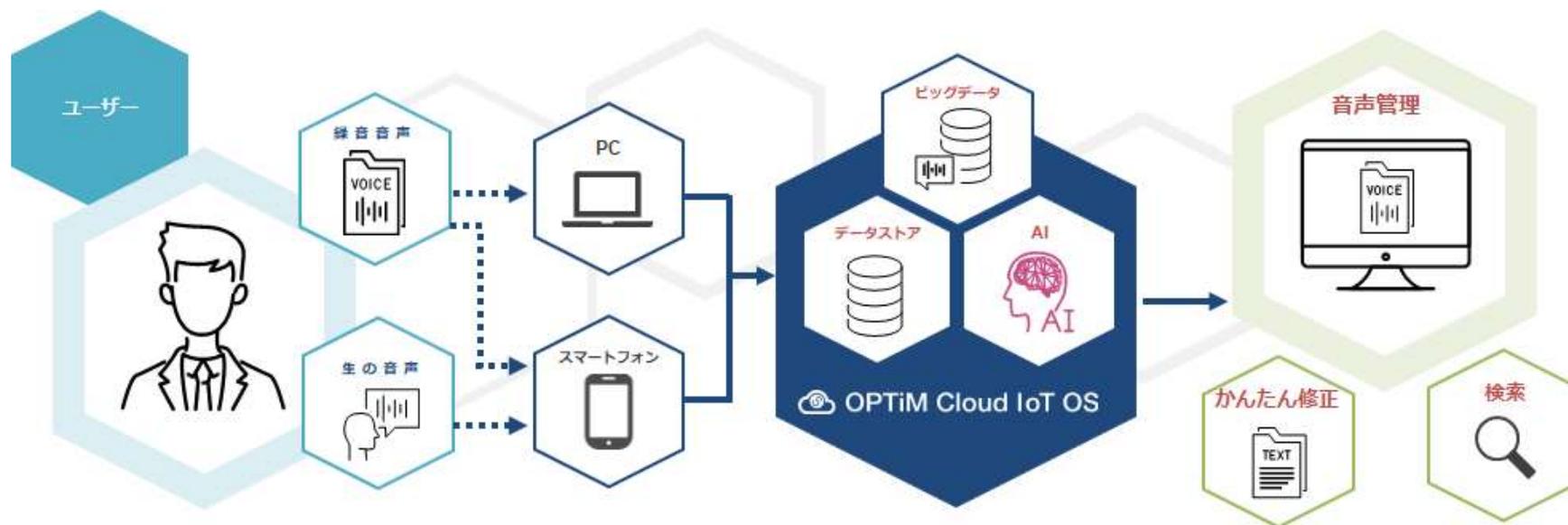


タブレットやデジタルサイネージ端末など、現場に設置された広告媒体に対して、まるでWeb広告のような感覚で広告出稿・運用できるサービス

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/1en2pWrTafw>

AI音声解析サービス 「OPTiM AI Voice Recorder」を発表

「OPTiM AI Voice」を大幅バージョンアップ、月額8,300円から利用可能



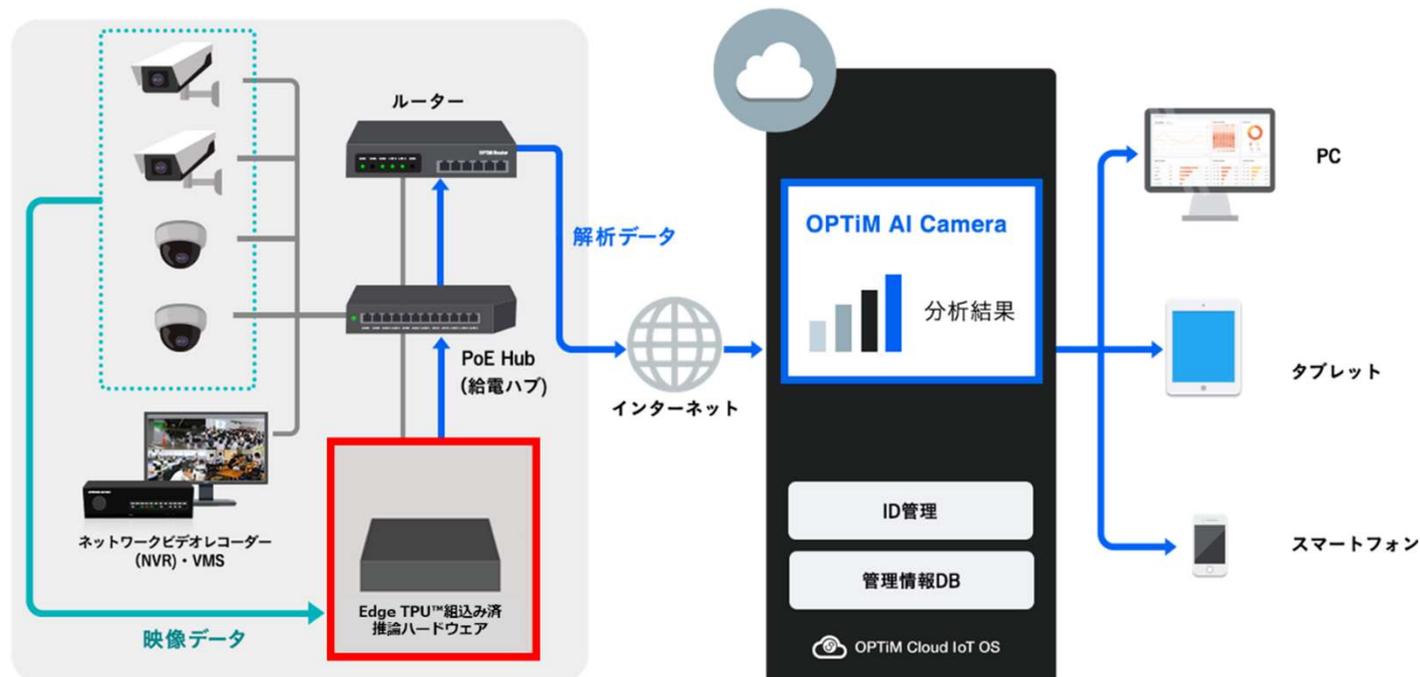
AIによるリアルタイム音声認識・テキスト変換の基本機能はそのまま、「データ保存」「データ検索」の2つの機能を強化。従来のAIを用いた文字起こしによるコスト削減に加え、会議やお客様対応などの場面でまず録音だけを行い、あとから必要な箇所だけを解析・データ化するなど、記録を残す目的でご利用いただくことも可能。

エッジコンピューティングデバイス 「OPTiM Edge」シリーズ、新モデルを発表

「高い性能を持つ推論インスタンスを
より低コストに組合せてAIサービスを構築できることが期待



「OPTiM AI Camera」と、Google™が提供する「Edge TPU™」を組み込んだ推論ハードウェアとの接続実証を完了し、エッジコンピューティングデバイス「OPTiM Edge」シリーズの新モデルのプロトタイプバージョンを追加



「OPTiM AI Camera」 ビデオ管理システムとの連携を拡大 ～オプティムの学習済みAIモデルの導入を促進～



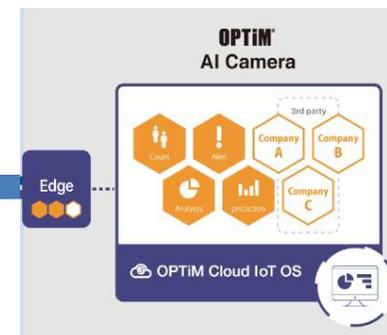
Genetec Security Center : 世界No.1
シェア※1を持つビデオ管理システムと
組み合わせ



Safie : 国内クラウド録画サービスNo.1
シェア※2を持つビデオ管理システムと
組み合わせ



ArgosView : 国内ビデオ管理システム市
場No.1シェア※3を持つ映像監視システム
と組み合わせ



※1 出典 : 2019年6月、IHS Markit発表調査レポートより

※2 出典 : 株式会社テクノ・システム・リサーチ「2018年ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」、2017年クラウド録画サービスカメラシェア

※3 出典 : 株式会社富士経済発表、「2017、2018 セキュリティ関連市場の将来展望」より

オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

OPTiM[®] AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位※1を獲得

※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月17日発刊、「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2019年度版】」より

スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する 「スマート農業プロフェッショナルサービス」を開始

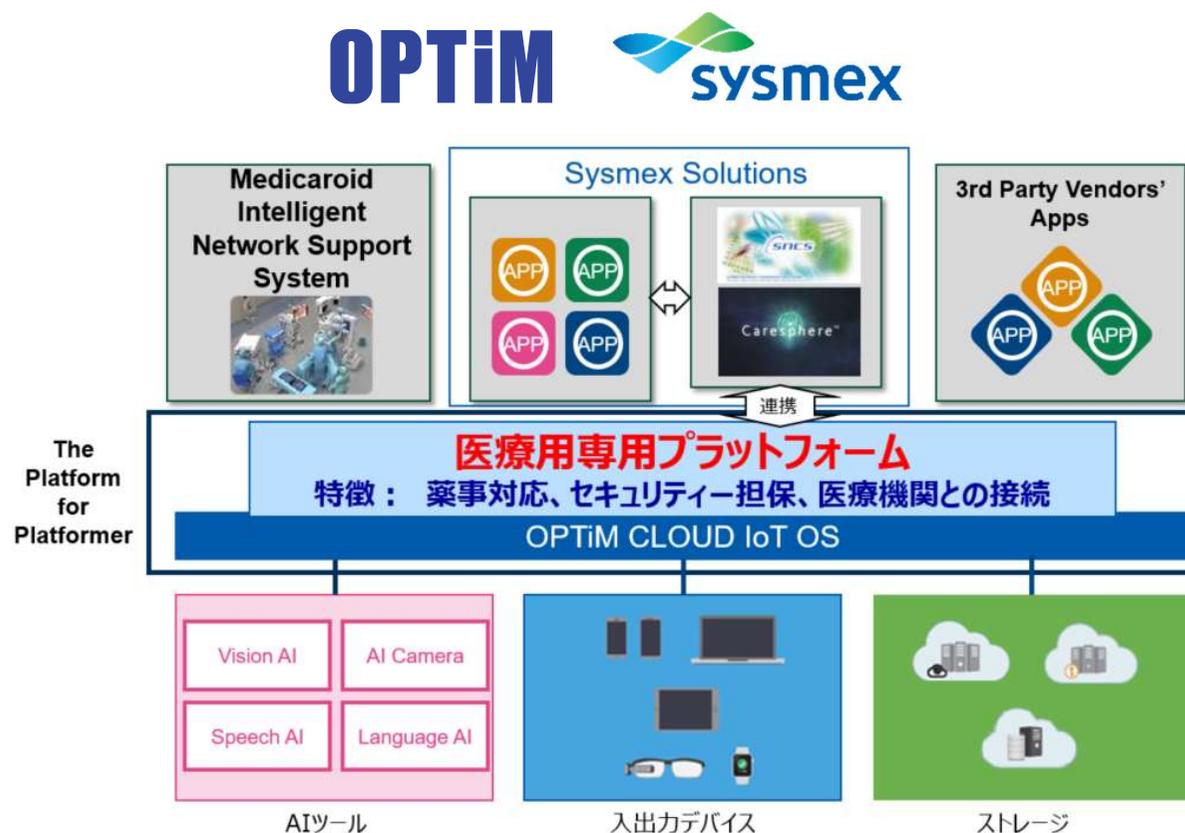
～スマート農業に必要なあらゆるハードウェア、
ソフトウェア、サービスを一括で提供～



生産法人や大規模企業の課題に対し、スマート農業向けハードウェア、ソフトウェア、サービスと当社の農業領域のノウハウを活かしたコンサルティングサービスをあわせてワンストップで課題解決を目指すサービス

オプティムとシスメックス、次世代の医療・診断を支える デジタル医療の事業化加速を目的に合併会社設立に向け基本合意

～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーション
の早期提供を目指す～



オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

オプティムと川崎重工、 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用における業務提携

OPTiM

 **Kawasaki**
Powering your potential



両社は、様々な産業での活躍が期待される精密機械・ロボットをネットワークに接続し、得られる情報をAIが解析するプラットフォームを構築することで、精密機械・ロボット分野におけるAI・IoT技術を生かした、新たなビジネスソリューションの早期開発・事業化とグローバル展開を目指します。

オプティムと松尾建設、 AI・IoT技術を活用した取り組みを推進すべく、 「建設×IT 戦略的包括提携」を締結

建設×IT 戦略的包括提携



＜戦略的包括提携内容＞

1. AI等の技術を活用したスマホ3次元測量サービス・アプリケーションの開発
2. 「OPTiM AI Camera」等を活用した建設現場安全管理システムの導入
3. AIや遠隔支援技術を活用した建設会社向け技術者支援システム（OB・OG技術者活用プラットフォーム）の検証・開発など

ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて、 2018年度国内EMM・MDM市場でシェアNo.1※1を獲得

～ 今最もお客様に選ばれているEMM・MDMソリューション～



2018年度国内
EMM・MDM市場シェア

No.1 を獲得



※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より

「OPTiM Innovation2019」を開催



AIの未来とあらゆる産業のビジョンがここに集まる

「イノベーション」をテーマとした本イベントでは、先進企業様のAI活用事例を交え、あらゆる産業での最先端テクノロジーの活用方法をご提案します。AI・IoTを活用して、業務の効率化、あたらしいビジネス価値の創造を考えておられるお客様のヒントになれば幸いです。

「OPTiM KOBE」を新たに開設



「OPTiM KOBE」内では、オプティムが取り組んでいるAI・IoT・Roboticsを活用した取り組みについてご覧いただけるショールームが併設されております。今後、「OPTiM KOBE」を関西エリアでの活動拠点とし、「医療×IT」や「ロボット×IT」、「農業×IT」などを推進してまいります。

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/Yf9HEFaR8IM>



2020年3月期 通期業績見通し



(連結経営成績 単位：百万円)

	2019年3月期 実績 (注)	2020年3月期 予想	前年比
売上高	5,468	6,563	—
営業利益	96	1~1,313	—
経常利益	145	1~1,313	—
純利益	11	0~814	—

(注) 2019年3月期実績は単体決算の実績です。

- 2020年3月期の業績は、創業来20期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上65.6億は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための活動を進めてまいります。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

〇〇×IT戦略に対する投資継続

更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ





第4次産業革命の中心的企业になる

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTiM